

在セネガル日本国大使館月報

2024年10月

主な出来事

セネガル

(内政)

- 14日、ファイ大統領は、CICAD で開催された「セネガル2050: 変革の国家アジェンダ」にて、政権の国家戦略に関する説明を行った。(14日 大統領府 X)
- 27日、11月17日に投票が予定されている国民議会選挙の選挙キャンペーンが始まり、各政党が選挙活動を開始した。(28日 Le Soleil)

(外政)

- 8日、サウジアラビアを訪問中のファイ大統領は、未来投資イニシアティブ・フォーラムにおいてビジョン「セネガル2050」を紹介した。29日、ムハンマド・ビン・サルマン皇太子と投資、エネルギー分野などについて協議した。(29、30日 大統領府 X)
- 31日、トルコを訪問中のファイ大統領は、エルドアン・トルコ大統領と会談し、記者会見において両国間でハイレベル戦略的協力評議会を設立することを公表した。(11月2日 Le Soleil)

(日本関連)

- 10日、ファイ大統領は田中明彦 JICA 理事長の表敬を受け、両国の協力について意見交換した。(10日 大統領府 X)
- 11日、ソンコ首相及び田中明彦 JICA 理事長は、日セネガル職業訓練センター(CFPT)の40周年記念式典に出席した。(12日 Le Soleil)

(経済)

- セネガル新政権が実施した公的財政の監査の結果、財政赤字が GDP 比で10%に達し、前政権が発表した数字の2倍であることが明らかになったことを受け、米信用格付け機関ムーディーズはセネガルの長期国債の格付けを「Ba3」(投機的)から「B1」(非常に投機的)に引き下げた。(5日 Le Soleil)

ガーボベルデ

- 7日、9月末に辞任したソアレシュ外務大臣に代わり、新たにモンテイロ外務大臣が任命された。(7日 大統領府Facebook)

ガンビア

- IMFの調査団は9月30日から10月11日までガンビアを訪問し、今年1月に承認された拡大信用ファシリティによるプログラムのレビューを行い、引き続きプログラム目標の達成に向けてコミットしていく姿勢を示した。(14日 The Point)

ギニアビサウ

- エンバロ大統領は、国民議会選挙を延期するのではないかと野党からの疑いに対し、規定通りの日程で実施することを改めて確認した。(11日 DW)

・閣僚の官職名は適宜省略した形とする。(例:ファル・アフリカ統合・外務大臣→ファル外務大臣など)

セネガル

(内政)

内政一般

- 3日、ファイ大統領は閣議において10月14日に経済社会政策2025-2050に関する発表を行うことを決定した。(3日 大統領府 X)
- 11月17日に実施予定の国民議会議員選挙に関し、選挙総局は、政党から提出された45の候補者名簿を審査し、41の名簿を受け付けた。(8日 Le Soleil)
- 14日、ファイ大統領は、CICAD で開催された「セネガル2050: 変革の国家アジェンダ」にて、政権の国家戦略に関する説明を行った。(14日 大統領府 X)
- レバノン情勢の悪化を受け、セネガル政府は117名のレバノン在住セネガル人の帰国を決定し、19日、対象者が帰国し、ファイ大統領により迎えられた。(21日 Le Soleil)
- 27日、11月17日に投票が予定されている国民議会選挙の選挙キャンペーンが始まり、各政党が選挙活動を開始した。(28日 Le Soleil)

(外政)

二国間・多国間関係

- 1日、ファイ大統領は、イスフ前ニジェール大統領(現サヘル地域安全・開発ハイレベルパネル議長)の来訪を受け、地域の治安情勢について意見交換した。(1日 大統領府 X)
- 16日、ファイ大統領は、EU のウルピライネン国際協力担当委員を迎え、「セネガル2050」と主要セクターについて協議した。(17日 大統領府 X)
- 27日、ファイ大統領は、サウジアラビアで27-31日に開催される未来投資イニシアティブ・フォーラムに出席すべくダカールを出発した。サウジアラビアに続いて、31日-11月2日にはトルコを訪問する。(27日 大統領府 X)
- 28日、サウジアラビアを訪問中のファイ大統領は、未来投資イニシアティブ・フォーラムにおいてビジョン「セネガル2050」を紹介した。29日、ムハンマド・ビン・サルマン皇太子と投資、エネルギー分野などについて協議した。(29、30日 大統領府 X)
- 31日、トルコを訪問中のファイ大統領は、エルドアン・トルコ大統領と会談し、記者会見において両国間でハイレベル戦略的協力評議会を設立することを公表した。(11月2日 Le Soleil)

日本関連

- 10日、ファイ大統領は田中明彦 JICA 理事長の表敬を受け、両国の協力について意見交換した。(10日 大統領府 X)
- 11日、ソコ首相及び田中明彦 JICA 理事長は、日セネガル職業訓練センター(CFPT)の40周年記念式典に出席した。(12日 Le Soleil)
- 11日、令和6年春の外国人叙勲の対象者であるババカール・セック前 CFPT 校長に対する旭日双光章の伝達式が開催された。(12日 Le Soleil)
- 14日、セネガル人格闘家のティアトゥ・ヨフ(本名:ババカール・ガイ)は、日本で開催された総合格闘技の試合において日本人選手に対しノックアウトで勝利した。(15日 Le Soleil)
- 在セネガル日本国大使館は、第37回俳句コンクールの作品募集を12月20日締切りで開始した。(23日 Le Soleil)

- 29日、シェイク・アンタ・ジョップ大学にて第3回 JICA チェアが開催され、高橋基樹京都大学教授が講演を行った。(31日 Le Soleil)

(経済)

経済一般

- セネガル新政権が実施した公的財政の監査の結果、財政赤字が GDP 比で10%に達し、前政権が発表した数字の2倍であることが明らかになったことを受け、米信用格付け機関ムーディーズはセネガルの長期国債の格付けを「Ba3」(投機的)から「B1」(非常に投機的)に引き下げた。(5日 Le Soleil)
- IMF のコザック報道官は、セネガル政府が公的債務の監査を実施し、財政の透明性を確保しようとする姿勢を示したことに対して賛辞を送った。それに対し、ファイ大統領は IMF の協力的な姿勢に謝意を表明した。(7日 Le Soleil)
- 9日、サンゴマル沖油田の開発業者 Woodside は、ファイ大統領と会談し、石油開発から3か月を経過し、目標としていた日産10万バレルをすでに達成していることを公表した。(11日 Le Soleil)
- 15日、ウルピライネン欧州委員会(EU)国際パートナーシップ担当は、ジャムナジョのワクチン製造拠点「Vaccinopole」を訪問し、ダカール・パスツール研究所を通じた2,500万ユーロの支援を約束した。
- 17-18日、産業・通商省は「産業・通商・中小企業・中小産業戦略会議」を開催し、ジョップ同省大臣は自国産業の保護による競争力強化に取り組む姿勢を示した。(18日 Le Soleil)

(文化・スポーツ)

- セネガル柔道連盟のンゴム会長は、11月19-24日に「柔道ダカール国際オープン」を実施することを公表した。45か国から200名を超える柔道家が参加する予定である。(11月2日 Sud Quotidien)

カーボベルデ

- 7日、9月末に辞任したソアレシュ外務大臣に代わり、新たにモンテイロ外務大臣が任命された。(7日大統領府Facebook)
- 民間企業と市民社会の20名から構成されるカーボベルデグループが、9-21日に中国で開催されるグリーンエコノミーに関する研修会に出席した。(16日 anacao)
- 15日、保健省はサン・ビセンテ島で累計41名の Dengue 熱感染者を確認したことを公表した。(16日 mindel insite)
- 国立統計研究所は、2024年第2四半期の多目的調査の結果を開示し、その結果、15-35歳人口の24.5%が失業状態にあることが明らかとなった。(21日 balai CV)
- サントシュ海洋大臣が24-25日に中国・青島市で開催される「海洋開発世界フォーラム」に出席し、開会式で演説することが公表された。(23日 opais)
- 30日、ゴンサルヴェシュ保健大臣は、Dengue 熱に対するワクチンが11月の前半に受領することを公表した。(31日 balai CV)

ガンビア

- IMFの調査団は9月30日から10月11までガンビアを訪問し、今年1月に承認された拡大信用ファシリティによるプログラムのレビューを行い、引き続きプログラム目標の達成に向けてコミットしていく姿勢を示した。(14日 The Point)
- 15日、欧州国境沿岸警備機関(Frontex)は、2024年の9か月でガンビアからの不法入国者が42%減少したものの、依然として高い水準に留まっていることを公表した。(17日 standard)
- 国土・地方行政・宗教問題省は、21-23日の予定でガンビアを訪問中の国連ハビタットの代表団を迎え、持続可能で安全な都市開発について意見交換した。(21日 he Point)
- 30日、ガンビア大学はトルコ政府と連携して、大学のカリキュラムにトルコ語の講座を組み込むことを決めた。これによりビジネス、学術、文化面での交流促進が期待されている。(11月1日 The Point)

ギニアビサウ

- ポルトガルのサンパイオ外務・協力閣外大臣は、11日から2日間の日程でギニアビサウを訪問し、エンバロ大統領と会談した。同大統領はメディアに向け、11月24日に実施予定の国民議会選挙に対する支援を行うことを語った。(11日 DW)
- エンバロ大統領は、国民議会選挙を延期するのではないかと野党からの疑いに対し、規定通りの日程で実施することを改めて確認した。(11日 DW)
- UNDPは、貧困と人間開発に関する報告書において、ギニアビサウ人口の64.4%が多次元の貧困の状態にあり、26%が一日2.15米ドル以下の水準で暮らしていることを公表した。(19日 Radio sol mansi)
- 包摂的連合プラットフォームPai-Terra Tankaのペレイラ代表は、社会・政治セクターから11月24日の国民議会選挙の延期が提案されていることを受け、予定通り実施することを要請した。(30日 balai CV)

(注) 本月報は、セネガル、カーボベルデ、ガンビア、ギニアビサウの報道を当館限りでまとめたものです。記事内容は、日本政府やセネガル政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。

(了)